

令和4年度 第2回浜松市環境影響評価審査会 会議録

- 1 開催日時 令和4年11月10日(木) 午前10時00分から午前11時45分
- 2 開催場所 浜松市役所鴨江分庁舎 二階会議室
※本会議はWeb会議方式にて開催した。Web会議出席者は「3出席状況」のとおり。

3 出席状況

審査会委員

Web	磯村 克郎	静岡文化芸術大学 デザイン研究科 教授	
Web	岡島 いづみ	静岡大学 工学部 准教授	
-	岡田 恭明	名城大学 理工学部 教授	
会場	加須屋 真	常葉大学 社会環境学部 非常勤講師	
Web	北村 亘	東京都市大学 環境学部 准教授	
Web	木岸 暁子	静岡大学 理学部 准教授	
Web	小杉山 晃一	常葉大学 社会環境学部 准教授	
Web	酒井 奨	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 副主席研究員	
Web	坂田 昌弘	静岡県立大学 食品栄養科学部 名誉教授	
会場	土屋 智	静岡大学 農学部 名誉教授	副会長
会場	平井 一之	一般社団法人 静岡県環境資源協会 専務理事	会長
Web	宮崎 一夫	遠州自然研究会 事務局長	
Web	向井 貴彦	岐阜大学 地域科学部 准教授	
Web	横田 久里子	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授	

事務局

環境政策課	山田環境部次長(環境政策課長)、上野課長補佐、辻主幹、内山主任、山本
-------	------------------------------------

説明者

事業者	浜松洋上風力発電合同会社
	株式会社 KANSO テクノス

- 4 傍聴者 0名(報道2名)
- 5 議事内容
(1) 審査事項
(仮称) 浜松市沖洋上風力発電事業 環境影響評価計画段階環境配慮書について
- 6 会議録作成者 環境政策課企画調整グループ 山本
- 7 記録の方法 発言者の要点記録
- 8 会議記録 有(公開)

1. 開会

2. 議事 会議の公開、会議の成立について

事務局（山田次長） 《会議の成立確認》

《会議の公開について確認》

はじめに、会議及び会議録の公開についてお諮りする。本日の会議では、希少な動植物の情報など、非公開情報を審議する予定がないため、公開会議とするがよいか。

（異議なし）

了承いただいたので、本日の審議は公開とする。

《WEB 会議における注意事項説明》

《資料の確認》

それでは、次第の 2、議事に入る。議事進行については浜松市環境影響評価条例第 60 条第 1 項により、「会長が会議の議長となる」とされているため、ここからの進行は平井会長をお願いします。

議事 事業者による事業説明、質疑応答

平井会長 それでは、議事進行をさせていただきます。

本日の会議録は、事務局で作成し、浜松市附属機関の会議録の作成および公開に関する要綱に基づき、公開することとする。

それでは議事に入る。

審査事項「(仮称) 浜松陸上風力発電事業 環境影響評価計画段階環境配慮書について」をはじめに事務局から概要の説明後、続けて事業者から図書の説明をお願いします。

事務局 《資料 1、2、3 に基づき説明》

事業者 《資料 4 に基づき事業内容について説明》

平井会長 ただ今の説明について、ご意見・ご質問があればお願いします。

北村委員 事業実施想定区域の近隣に、マリーン IBA として選定されているコアジサシの営巣地がある。海外でコアジサシのようなアジサシ類が沿岸域の風車にバードストライクした事例があるため、コアジサシへの配慮をお願いしたい。陸域に営巣地があることだけでなく、採餌中の話も含めて調査、評価をしてほしい。

事業者 コアジサシの重要性については重々承知している。今後方法書において、コアジサシがどこまで海域利用しているか現地調査で確認していこうと考えている。

北村委員 コアジサシは年によって来たり来なかったりということがある。できるだけ長い間モニタリングをして、評価をしてもらいたい。
また別件になるが、海底ケーブルの位置が分からないと話がしづらいと思う。可能であれば早めに決定してほしい。

- 小杉山委員 スナメリとカンムリウミスズメもこの海域を利用している可能性がある。方法書に向けて、これらの動物も項目に加えてほしい。海域調査となるため、船を出すなど時間も費用もかかることになると思うが、検討をお願いしたい。
- 坂田委員 沿岸域に大規模な風力発電施設を建設することから、海水の流動が変化することが考えられる。海況の変化により、中田島砂丘などの海浜変形や、浜名湖への海水の流入量の変化を危惧している。現時点でどの程度評価しているのか聞きたい。
- 事業者 配慮書段階で、動物の生態系が変わることへの影響は予測評価をしているが、重要な地形や海浜変形などについては、先行している事業も踏まえ、調査も含めて今後検討していくことになる。
- 酒井委員 配慮書の配慮事項の選定では工事の実施による影響を対象としないとのことだが、これにより方法書以降、配慮すべき項目に漏れがある可能性が考えられる。また、風力発電施設稼働後、陸上に対する騒音は述べられているが、海中についても影響があると考えられる。
- 宮崎委員 風力発電施設の稼働により、漁業への影響がかなりあると思うが、漁業関係者への配慮はどのように考えているか。
- 事業者 環境影響評価の枠組みの中で取り扱うかは検討中であるが、漁業者のことも今後十分に配慮していく。
- 平井会長 事業のコンセプトに地元経済活性化への貢献が謳われているが、洋上風力の場合は資機材が海外輸入なことが多く、なかなか地域経済への活性化につながらないということがある。そのあたりについて、現段階での考えを伺いたい。
- 事業者 現在、サプライチェーンを含めて地域活性化の方針を計画中であり、様々な地元の方々とお会いして、話を進めている段階である。
- 加須屋委員 輸送計画について、海外から資機材を搬入する場合、コンテナを利用するのか、それから基地港の想定場所を分かる範囲で教えてほしい。
- 事業者 事業実施想定区域が再エネ海域利用法における区域指定されていないことから、現時点での回答はできない。今後、区域指定された場合、国土交通省が基地港を選定することになる。
- 加須屋委員 コンテナを利用して輸入する場合、外来生物の付着も考えられる。そこも含めて検討して欲しい。
また、施設の稼働による海域に生息する動物への影響は配慮しないとのことであるが、これは影響がないと考えているのか。
- 事業者 アセス省令を参考に配慮書の項目を選定した。ただし、実際問題として海域の生物に対して施設稼働中の騒音影響が想定される場合には、方法書以降で選定する必要があると考えている。

- 横田委員 今後様々な調査を行い、計画を明確にしていくとは思いますが、指定された項目に基づいて環境影響を評価するのではなく、広い意味での環境影響評価を実施してほしい。
- 事業者 現在は配慮書段階であるため、想定されるものに基づいて予測評価をしている。今後環境影響評価の手続きを進める中で、住民意見や専門家意見等を踏まえて調査事項を検討していく。
調査の規模は、事業性等も踏まえて各所と話し合いながら進めていくことになると思う。
- 向井委員 海域に生息する動物に対する影響について、サメやエイなどは微弱な電気を感知して採餌行動をとるため、ケーブルの発する電磁波の影響等、過去の既存事例があれば参考して配慮してほしい。
- 小杉山委員 大規模な風力発電施設を建設するにあたり、近隣の陸域に資材置き場等の基地を作ることが考えられる。今回の事業実施想定区域の陸域側は、ほとんど保護区やウミガメの産卵場所となっているため、選択肢が少ないと予想する。陸域の基地をどのように検討していくのか、それを配慮書段階で検討する必要はないのか問う。
- 事業者 配慮書では計画熟度が低く、決まっていない状況であるが、方法書の段階ではある程度想定して進める必要があると認識している。全範囲が重要な場所ということを踏まえ、検討していく。
- 木寄委員 地震や津波が発生した際、構造物の倒壊や、それによる各種被害が考えられる。現在の想定と、こういった被害に対する配慮を伺う。
- 事業者 構造審査を受けて、地震や津波に耐えられるような風力発電施設を現地に建設する。
- 木寄委員 災害の影響で倒壊し、流されてしまうことは無いと考えてよいか。
- 事業者 台風や地震、津波の影響について、構造設計の段階で国の審査機関を受けてその後製品化をする。そのため、壊れるようなものは作らないという計画である。
- 平井会長 出尽くしたようなので、事業者への質問はここで終了とする。

議事 市長意見（案）説明、質疑応答

- 平井会長 続いて、市長意見案に関する審議に入る。事務局から説明をお願いします。
- 事務局 <<資料5に基づき説明>>
- 平井会長 事務局から提示された市長意見案についてご意見、ご質問があればお願いします。
- 土屋副会長 区域設定の考え方を市長意見に取り入れた方がよいのではないかと思います。
- 事務局 「市のゾーニング計画を踏まえて検討すること」という意見にする方向で検討する。
- 小杉山委員 洋上風力発電事業は、漁業者との関わりが非常に大きくなると考えられる。漁業への影響など、漁業について独立した項目があってもよいと思う。

- 宮崎委員 漁業者への配慮について、「地域住民等に対する情報提供について」の項目の中でも漁業者に言及してほしい。
- 事務局 漁業者への配慮はもちろん重要な要素であると認識しており、既利用者への配慮というところで市長意見に取り入れていた。ただし、環境影響評価の自治体意見は、環境保全の見地から述べることになっているため、漁業を独立した項目とするのか、意見全体のバランスを取りながら検討する。
- 酒井委員 海中生物への騒音や電磁波の影響を市長意見に加えた方がよいと感じた。
- 事務局 動植物の欄に付け加える。
- 酒井委員 また、風力発電施設の躯体を固定するために、海底質の改変等で土を巻き上げることもあると思う。そういったことによる水の濁りなども加えた方がよいと思う。
- 事務局 工事中の水質を懸念する形で意見を検討したいと思う。
- 坂田委員 海況や海に生息する動物など、遠州灘について触れられているが、浜名湖も意見に含めてほしい。浜名湖にも影響があると考えられる。
また、長期間、海の過酷な環境に置かれることを考えると、サビの発生や、塗装の剥離、塗り直しによる水質への影響も懸念される。
- 平井会長 意見が出尽くしたようなので、ここで審議を打ち切る。
これで議事は終了したので、皆様方に貴重なご意見を承ったことにお礼を述べ、進行を事務局にお返りする。

3. 閉会

- 事務局（山田次長） 本日は長時間にわたりご審議いただき感謝申し上げます。
いただいた意見については後日調整させていただければと思う。
事務局から、今後の予定について連絡させていただく。
- 事務局 本日の議事について、追加のご意見・ご質問等ある場合は、11月14日（月）までに事務局までお願いする。
本日の会議録については、事務局で取りまとめて送付するので、内容の確認をお願いする。
本日ご審議いただいた配慮書の市長意見は、本日の審議を踏まえて、修正、検討させていただき、修正案を委員の皆様へ再度お送りする。その後、会長と相談のうえで確定とさせていただきます。
- 事務局（山田次長） <<閉会>>